

# efit+ for TCU Ver.1.4.1.0 アップデート概要

2015年12月  
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for TCU Ver.1.4.1.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

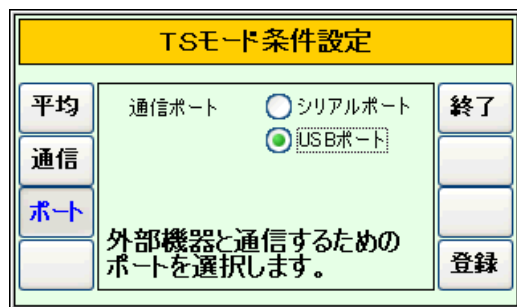
## ■ ソフトウェア構成表

◆efit+ for TCU Ver.1.4.1.0 の製品構成は下記の通りです。

製品名	コード	備考	改良
efit+T 測量基本ソフト	B-E1-T00	基本キットに含まれます	TSモード設定にポート設定追加など
efit+T 測量観測	B-E1-T50	基本キットに含まれます	RoboticLite接続、TRK観測など
efit+T 測量計算	B-E1-T51		
efit+T 線形計算	B-E1-T52		
efit+T 縦横断観測	B-E1-T53		測線誘導モード追加、TRK観測など
efit+T 平板観測	B-E1-T54		TRK観測など
efit+T GPS観測	B-E1-T55		
efit+T オートフォーカスOP	B-E1-T56		
efit+T 地籍観測	B-E1-T57		
efit+T Nikon通信OP	B-E1-T58		
efit+T 定点観測	B-E1-T59		

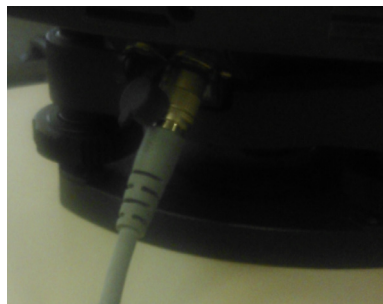
## ■ TSモードに外部機器との通信ポート追加

- ◆外部機器との通信ポートが設定できるようになりました。
- ◆「TSモード条件設定」に「ポート」ボタンを追加しました。  
「ポート」を選択と外部機器と接続するポートの選択が行えます。



※ここで設定した通信ポートは、TSモード内と RoboticLite 接続時に使用します。

- ◆「シリアルポート」への接続については、本体下部の通信ポートに「53002021:TCU PC 接続 RS232C ケーブル」もしくは、「73841019:TCU メモリ接続ケーブル」を装着し、ケーブルの先に「Bluetooth モジュール」を装着し、外部機器とペアリング設定行って通信を行います。



- ◆「USB ポート」への接続については、TCU 装着部横の USB ポートに直接、「Bluetooth モジュール」を装着し、外部機器とペアリング設定行って通信を行います。



- ※現在使用できる「Bluetooth モジュール」は、SENA 社の「Parani-SD1000」もしくは「Parani- SD1000U」のみです。
- ※USB ポートに直接「Parani-SD1000U」を装着する場合、「Parani-SD1000U」に負荷がかかるような接触はしないように注意して下さい。(USB ポートが破損する恐れがあります)

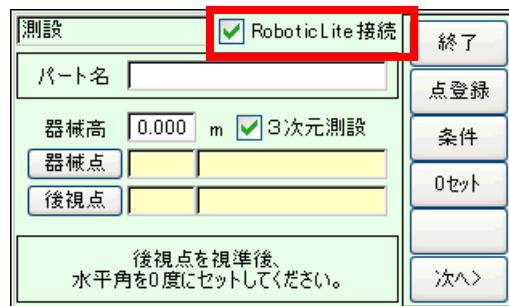
## ■ RoboticLite 接続

- ◆「RoboticLite Version 2.0.2.0」と接続ができるようになりました。  
接続対象プログラムは「平面観測」と「測設」です。

### 【平面観測】



### 【測設】



- ・「RoboticLite 接続」のチェックを付けて「RoboticLite」と接続します。
- ・通信ポートの設定は、「TS モード設定」内のポート設定で行います。

### 【RoboticLite 側】



- 「平面観測」と接続して「RoboticLite」側でできること。

- 1.観測点 No、名称の入力
- 2.目標高、属性番号の入力
- 3.測距開始、測距停止
- 4.データ記録
- 5.オートロック ON/OFF など

- 「測設」と接続して「RoboticLite」側でできること。

- 1.測設点 No、名称の入力
- 2.目標高の入力
- 3.測設開始、測設完了
- 4.測設点へ旋回
- 5.測距開始、測距停止
- 6.オートロック ON/OFF など

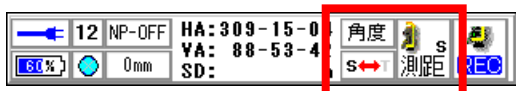
## TRK 観測対応

- ◆現在、TRK モードで測距時に REC ボタンを押してデータを記録した時点で、測距が止まりますが、本バージョンより、TRK 測距時のみデータを記録しても測距が止まらない用にしました。これにより、プリズムを追尾している限り、測距音が鳴り追尾している事を音で確認でき、観測効率が上がります。対応プログラムは、「平面観測」「座標コレクタ」「横断観測」「平板観測」のみです。

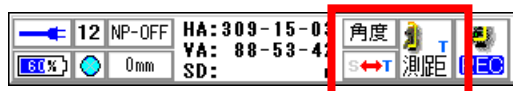
## 測距モードの表示変更

- ◆ステータスバー内の測距モード変更ボタンの表示で有効でないモードをグレースアウトで表示するようになりました。また、測距ボタンに表示している、現在のモード文字の色を TRK の時は青文字で表示するようになりました。

【標準】



【TRK】



## 測線誘導に接線基準モード追加 縦横断観測オプション

- ◆横断観測の測線誘導機能に「接線基準」モードを追加しました。「接線基準」モードは、縦断の接線方向を基準に観測することにより、縦断線に直角に横断測線を設置して測線誘導を行います。  
※本モードを使用する時は、センターに器械を設置するか、センターを後視点にしてください。

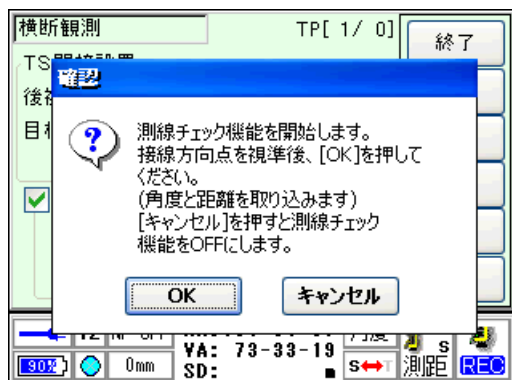
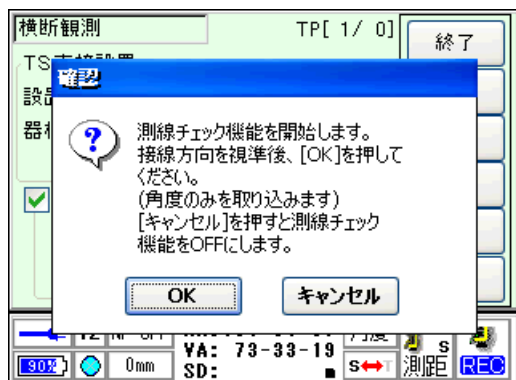
【直接設置】



【間接設置】



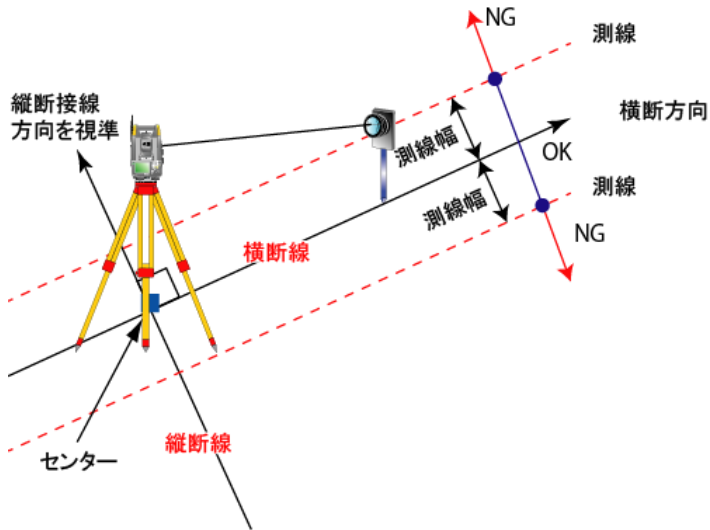
- ・「接線を基準」のチェックボックスにチェックを付けます。
- 各設置方法のデータを入力もしくは観測後下の画面を表示します。



- ・「OK」を選択後、横断測線を設定します。

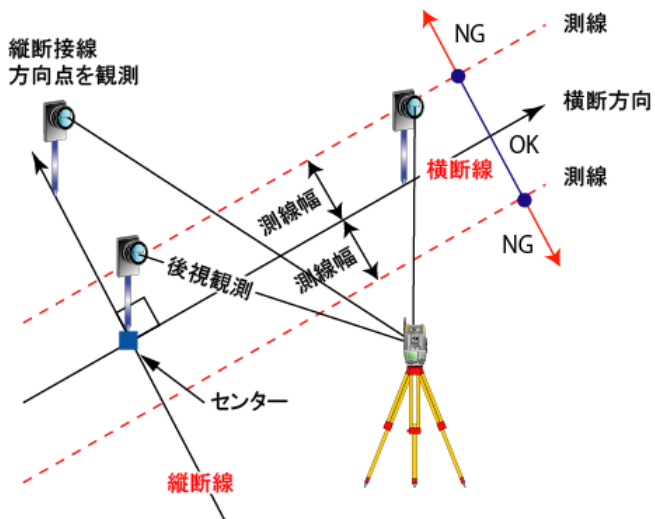
【直接設置】の場合、

センターに直接トータルステーションを設置して縦断接線方向を視準して、視準方向から直角に測線を設定します。



【間接設置】の場合、

センターを後視点として観測し直後に縦断接線点を観測して後視点から縦断接線点への方向に対して直角に測線を設定します。



以上